

1 学期 P T A 広報に寄稿した東井義雄先生の「自分は自分の主人公」の別バージョンです。卒業期に親子で読んでみてください。

自分は自分の主人公

東井義雄（とおい よしお）

自分は自分の主人公

世界でただ一人の自分を創っていく責任者

九（苦）をのりこえなければ

10のよろこびはつかめない

九九を通らなければ

100のしあわせは得られない

ほんものと にせものとは

見えないところのあり方で決まる

ほんものはつづく

つづけるとほんものになる

すべて見える世界は、その幾層倍もの

見えない世界にささえられて

そこに存在している

尊いもの 美しいもの 善なるものも

みんな謙虚な人のところへ集まってきて

その人のものとなる

二度とない人生。二度とない今日ただ今。

生きているということは

どんなにすばらしいことなのか

どんなにただごとではないことなのか

いちばん身近な人のおかげが見えないよう

では

しあわせにはめぐりあえない

亀は兎になれない

しかしそのつもりになって

努力すれば

日本一の亀になれる

君は 君をりっぱにする

世界でただ一人の責任者なんだね